

新しい年を迎えて



飛島市長

久野 時男

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、第4次総合計画の将来像である「小さくてもキラリと光る村 とびしま」に向けた取り組みがより一層推進した年となりました。

スポーツ推進委員、食生活改善推進員の皆様が中心となり創作された、とびしまオリジナル体操「キラリとびしま のびのび体操」が村民体育祭で披露されました。日本一健康長寿の村を目指し、村民の皆様で創り上げたこの体操に愛着を持って大いに活用していただき、健康づくりの一助となるよう今後も普及活動を継続してまいります。

また、村の農作物の新たな活用方法と村の農業の活性化のため、飛島村と豊根村の旬の野菜を使

用した「とび・とよ旬菜弁当」を制作し、ふるさとフェスタにて販売させていただいたところ、大変好評をいただきました。

さて、豊根村とは、平成24年12月の災害時における相互応援に関する協定書の締結をきっかけとして、村の子どもたちに茶臼山高原スキー場の友好自治体バスポートを贈呈いただいたり、各種団体が視察に伺ったりと交流を図ってまいりました。今後も、お互いに手を繋いでいくために、友好提携の締結に向けて準備を進めてまいります。

昨年9月に皆様方にご協力いただいた、まち・ひと・しごとに関するアンケート調査の結果を踏まえ、飛島村の未来のむらづくりの方向性を示す、飛島村地方版総合戦略の策定に取り組んでおります。人口減少時代を迎え、小さな村だからこそできることを認識しつつ、地域に根差した独自性ある取り組み、真に必要な取り組みに対する積極的な投資により、名古屋大都市圏において飛島村が存在感を発揮していくことが必要だと考えます。そのためにも、現在進めております渚地区住宅地開発や、子どもの医療費無料、一時避難施設の充実など、この住み慣れた村で、皆様一人一人がキラリと光り、活き活きと生活できるよう、各種施策を推進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜り

ますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十八年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、ジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。

日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology(技術)とTradition(伝統)を誇る我が国の産業の中心地、まさにHeart of JAPANです。今年は、この愛知の強みをさらに進化させる年になりたいと思います。

2027年度のリニア開業を前に、鉄道・道路などの社会基盤を着実に整備し、「中京大都市

圏」づくりを進めるとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、さらには農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、そのための「人財力」を強化するため、モノづくり人材の育成、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらには、福祉・医療、防災、環境、スポーツ、東三河地域の振興などにも力を注ぐほか、5月の伊勢志摩サミットなど様々な機会を捉え愛知の魅力を国内外に積極的にPRしてまいります。

そして、今年は、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と続く「芸術・アートの年」です。多様な魅力あふれる文化芸術作品をお楽しみください。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十八年 元旦

